

☆★第3次鹿屋市総合計画 基本目標・基本施策等に対する自由意見★

基本目標1 やってみたい仕事広がるまち

【基本施策】①活力ある農林水産業の振興

②商工業の振興と雇用の促進

年 代	自 由 意 見
10 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 今ある鹿屋の長所である産業をもっともっと向上させると知名度があがると思う。雇用の促進により鹿屋で働きたいと思う人々が増加し住民が増えると思う。 ● お芋のおいしさを鹿児島や鹿屋の人に知ってもらうことももちろん大事だと思うが、もっと県外に目を向けるのもいいと思う。なぜならおいしさはもう充分知っているから。 ● 鹿屋市では年々、人が減っていて、もちろん少子高齢化もあると思うが、職の選択肢が少ないのもあると思う。もう少し職に力を入れたほうがいいと思う。 ● 農林水産業の若手が全然居ないから。 ● 鹿屋が今後生き残っていくためには鹿屋市を農業都市にすることが必要不可欠だと思う。また、鹿屋を活性化させるためには若者が働きたいと思えるような会社を鹿屋に作ることも大切だと思う。 ● 農業に関しては、美味しい野菜や肉などが豊かで素晴らしいと思う。 ● 活力ある農林水産業の振興も商工業の振興と雇用の促進も、あるに越したことはないと思う。これらのことに力を入れてマイナスなことにならないと思う。これらの活動が何か思いつくかと聞かれたら何も思いつかないため、どちらともあまり満足はしていない。 ● お芋フェスはとても楽しんで参加していました。続けて欲しいです ● 今鹿屋で働きたいと思っている人は少ないと思う。 ● おいもフェスは嬉しい。 ● もっと鹿屋が元気になってほしい。 ● 魅力発信の行事を自分や周りの人が楽しみにしている。 ● 就職した後も学び続けたいと考えている。

年 代	自 由 意 見
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 失業の間、何か資格をとろうと思った時、パソコン系しかなくて選択肢がなかった。美容系増やしてほしい。 ● 雇われる側は給料が低いため、外国人が多く、市民のためとは思えない。 ● 若者が魅力を感じる働き口を多くほしい。 ● 産業分野に関わらず、鹿屋市は雇用形態などよりも賃金や手当等を手厚くし、市からの補助や給付などを企業向け、就活者向けに配備し、他市との雇用促進における差を作るべきだと思う。多くの若者や単身世帯、子のいない就労者が、就労条件等が合わず短期間で辞め、転出し他市で就職し、子育てや育児就労しているのが現状である。また、市が負担して就労支援給付等を行うことはコストもかかると感じる方もいると思うが、市が就労者や企業の地盤となることで、鹿屋市全体が潤い、市民生活の質の向上に繋がり、鹿屋市への移住者や就労者、企業進出が期待できると考えます。若者の中には、他市と比較し、他に魅力を感じる人もいますが、市として補助できる部分、企業同士の交流・雇用促進に向けての会議等を主催するなど他市、他社との差を見つめる時間を作ることは大きな一歩ではないか考える。 ● この環境を活かしていかなければもったいないので、農林水産業界からもっと盛り上げて欲しい。また、働きやすさなどの魅力がもう少しあれば、鹿屋に来て仕事がしたいという人も増えるのではないかと思う。 ● 人間の基盤は食だと思う。農家が潤えば周りも潤うと考えるから。今の個人農家さんの十分な収入を得るために必要なスキルの多さや仕事の仕方を考えると新規就農させるのは酷だとも思う。 ● 持続可能な農林水産業を目指して欲しいから。 ● 産業保護のために重要な施策だと思うが、実施状況に関して、知らなかった。

年 代	自 由 意 見
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 農林水産業の担い手について、外国人雇用が増加しているが、外国人ばかりに頼るのではなく若者や失業者が働きたいと思えるような環境づくり（賃金、休日など）を行政が率先して行ってほしい。 ● 鹿屋の物産を使ったフェスをたくさんしてほしいです。フェスもマルシェも少しずつ認知度が増えていて嬉しいです。外国人労働者も増えていますが、この前マルシェで地元の人達と同じように楽しんでいる姿を見て嬉しかったです。偏見なくみんなが平等に楽しめるマルシェ、フェスをたくさん主催してほしいです。 ● 第一次産業で成り立っていると思うので農林水産業を促進することはいいことだと思う。企業誘致にリソースを割くのは現実的ではないと思う。 ● 使われていない田畑が道路脇にあると運転する時に困るので、そういう田畑を有効活用してほしい。 ● 高齢化が進む中、農林水産業の振興は不可欠だと思います。また、市の財源確保の観点からも商工業の発展も大切だと思います。 ● 鹿屋市はお芋がおいしくて、お芋を使ったお菓子もあるくらいなので、これからも続けてほしい。 ● 工場等の人を呼べる企業を誘致してほしい。また、食のレベルが高いのに外に対するPRが弱い。 ● 雇用と賃金、福利厚生が良いところを増やしてほしい。始良市や鹿児島市が良すぎて鹿屋はガッカリする。 ● 担い手が減って使われていない土地も多くあると聞く。農産物を売り出したいならしっかり対策していくべきだと思う。無人販売等で直接取引するなどして野菜を安価で買えたら嬉しい。木を伐採するのはいいが、しっかり対策してもらわないと大雨の際に崖崩れして通行止めになることが多々ある。竹林が多いため、道路に飛び出してきている。伐採しつつ何かに活用できないかと思う。 ● 企業誘致はぜひしてほしい。近辺に働く場所がない。野方 IC 付近なら交通の便も良いのではないかと考える。学び直しは本当にしたい。個人的には機械関係に興味があるが、今更難しいのかなと感じている。働きながら学べたら1番良い。ぜひ大人向けに専門的な教育を行ってほしい。 ● 特に鹿屋市の農業は県内でも有数の生産地である事から、もっと人が集まり、雇用も増やす事ができれば活気がうまれるのではないかと。 ● 住宅地がどんどんと侵食して農畜産業がしづらくなっているように思います。 ● 農林水産業に関するイベント等は多く、印象に残る。反対に、商工業の発展に市が寄与しているイメージが殆ど無い。商店街周囲の現況を前提に、経営者間のコミュニティひとつとってもロータリーやJCといった外部組織以外には、ほぼ存在しないと思われる。 ● 食が美味しい、 ● 第一産業の市であるが今後を考えると+αの発展が欲しいです。高速道路も開通して利便性は上がっていますが市外へ行く手段となっており、入ってきてい

ない。大隅半島で大きな市としてもっと企業誘致して働く場所と賃金向上の政策を望みます。大学も体育大しかなく、一般大学が無い上に高卒での就職では給料が低い。大卒でも魅力的な企業がなければ鹿屋に帰ってこない。

- タテとヨコの視点を広げて、もっと面白い街になると期待するため。

年 代	自 由 意 見
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 鹿屋は農業だけではダメ。市の発展には必要なことだが、取り組みが目立っている印象がない。 ● 広報は、もっとフランクでも良いと思う。 ● 企業、行政で話し合いだけでなく、活動して地域の担い手を育てていく。 ● 様々な仕事が増えていって欲しい。 ● 私もやりたい仕事があれば転職をしたいと思っていますが、いまの仕事しながら鹿屋市にどの様な求人が出ているのかどうやって知ったらいいのかわからないです。 ● 市が目標を掲げても、一般住民が何をするにも初期投資が高く手が出せない。 ● 農林水産業が、まだまだ施策が達成できていないと感じる。 ● 海もあり、山もある、そんな鹿屋が誇れるのは農林水産業だと思う。農林水産業の活力があれば、雇用も増え、商工業も盛んになるのではと思う。 ● 鹿屋の強みである農業や水産のアピールや後身を育てて行くのはこれからも鹿屋や日本にとって重要なことであると思う。 ● 商工業はそのまま鹿屋の税金にも繋がってくるので重要だと思う。 ● 広報等見ても特に目に入ってきていない。 ● もっと鹿屋市全体の活性化が必要だと思う。 ● 一次産業の発展につながる企業の誘致は急務であると感じる。農産物でも、鹿屋ならではの稼げる品目の生産に行政として舵を切るべき。 ● 水産業などで頑張る必要があるのに、市民には魚などの恩恵がない。カンパチ、きびなごばかり食べさせられているような気がする。 ● 農業の跡取り問題など次世代が少ない中フェスやイベントを通して興味をもってもらったり、情報を発信することによって他県などにもアピールができる。 ● 需要と供給のバランスが保たれてないとそもそもだと思えます。 ● 農業の後継者問題など課題があると思っています。 ● 重要な内容とは思いますが自分が直接関係している項目でないため、分からない。 ● 鹿屋市の特産品を守るためにも事業承継は大事な事だと思えます。 ● チャレンジできる場、選択肢が少ない。 ● 暮らしていくために、雇用の促進は重要。

年 代	自 由 意 見
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● リナシティの LINE 登録しているのですが、女性起業、企業に対するフォーラムや、若者、移住者に対する発信を目にします。参加率も高い様なので SNS 等の利用、町内の回覧板の内容をみても対応はすごくされていると思います。あと 20 歳若ければいろんな事にチャレンジできたかなと現在の環境がうらやましいです。 ● 若い人は都会へ行ってしまう。 ● 地球温暖化の中で亜熱帯化する環境下での農林水産業の今後を見据えた方向性が見えて来ない。目先だけの計画では？ ● 空き農地が増えてきているので新規の農家さんを育成するのが難しいのなら、保育園、幼稚園、小学校、中学校などと連携して米作りやさつまいも栽培などをするのはどうでしょうか。食育に興味のある方々は参加して下さると思うのですが。また、子どもも作業を体験してみて農家さんになりたい。という子どもでてくるのではないのでしょうか。 ● そのような取り組みを知りませんでした。「やってみたい仕事」に取り組むなら、キッズニアのように小学生、中学生の頃から興味を持てるような取り組みを希望します。 ● 農業や畜産業が中心で質の良いものがたくさんあるのに、他県への PR (発信) が上手くない。 ● 公務のため、産業の振興か雇用の促進に直接かかわる機会が無いので、分かりませんが、家族も含めた住みよい市のためには重要と思います。 ● 各取組をもっと発信できたらと感じる。取組の意義をもっと伝えられたらいい。 ● 雇用の場が少ない為、選ぶ職業が限られる ● 街に漂う悪臭、不便な商業施設 ● インパクトが足りない。本気度を感じない。なんとなく、やっとなら、いいって感じ。市民には、伝わってこない。 ● 若者が就業しやすい雇用の推進してほしい。 ● 恵まれた自然を大切に生かすことが大切。気候の変化にも対応できるよう緑化活動、山林の保全など、正しい知見に基づいた施策を期待している。雇用の促進については、民間企業も含め、若年層のその仕事への定着調査など、安易に外国人の労働力に頼るのではなく市民が働ける街になってほしい。 ● 後継者育成と雇用の拡大が必要と思います。 ● 市民総農業が出来るような施策が弱いと感じる(子供向けは多い)。 ● どれも頑張っていると思いますが、あとは発信ですかね。 ● 自然豊かがうりだとおもうので農林水産などに若い担い手が集まるようにイベントなどで仕事について発信した方がいいと思う。 ● 一次産業の安定した賃金の確保がなされていない。商工の振興は、購買する側に対しての補助等をしないと賑わない。 ● 森林や田畑の休耕地を何とかして欲しい。また商工業の実力はあるのに PR 力が微妙。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 地域活性化や人材育成は、とても大切である。満足度は現状の効果度の情報がわからないため。● 食料の自給力が自治体の体力に繋がると考えている。耕作放棄地の柔軟な活用にも取り組んで欲しい。● 鹿屋の特産品や観光地等のアピール力が足りていないのかあまり認知されていない。商業施設(服飾や雑貨・飲食店・ペット同伴で行ける飲食店・農産物販売等・映画館)が増えた方がいい。もっと増えれば若い世代の鹿屋離れも防げて雇用促進にもつながる。鹿屋にある物、小さいことでも、アピールに力を入れた方がいいと思う。● 地方の町の施策はどのようなものでも重要です。ただし、まだまだ考えられる事はあると思うので満足はしない。● 企業誘致などをもっと積極的に行なって雇用を増やしてほしい。● 農業の盛んな鹿屋市であるがアピール不足に感じる。 |
|--|

年 代	自 由 意 見
60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● イオンを誘致したことは評価に値する。東京にはもっと魅力的なお店がある。鹿児島で 1 軒鹿屋にしかない。そういうお店が増えればもっと市外からも人が集まるのでは。 ● お金を使う場所は増えているが、お金を生み出す場所は減っている。 ● 企業誘致をもっと推進してもらいたい。 ● 高齢者が増えてなかなか担い手がなくなり、田畑の管理が難しくなりつつあります。私も日頃の手入れが大変です。先々どうなっていくだろうと心配になります。 ● 人口減少を少しでも抑えるためにも魅力ある職場作りは重要と思う。地元産業を活性化してもらいたい。 ● 起業における情報発信が伝わらない。 ● 耕作放棄された農地が多く、ぜんぜん活用されていない。 ● 企業誘致をして働く場を広げて人口流出を防ぐ。 ● せっかくいい食材があってもそれをいかしきれてない。 ● 色々な事業を進めているが、関係者のみで話を決めている。 ● 最も重要、霧島市などと比べると活気がない。 ● やはり第一次産業がいのち。 ● 満足度に関しては現状を知らないので回答に自身がない。 ● 補助制度について、県外他市と比較して、未充足感を感じている。また、農政担当者の勉強不足を感じている。 ● 山林部で葛などツタ植物が木々に巻き付きが増大しているので、山が覆われる恐怖にかられる。同じく道路の状態や道路脇の植物のはみ出しなど市街地以外の衰退を感じさせられる。 ● 農地があったところに住宅が建つたびに、農業後継者がいなかったのだろうと推測します。鹿児島県の最低賃金も全国的には低いので、長く住み続ける市では無くなっていくのではないかと思います。 ● 雇用の確保に力を入れていない。 ● 有望な人材の不足。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 基金が 250 億円もあるのだから、これをそれらに活用しなければいけない。 ● 都城を見本とし、若者も鹿屋に住み続けたいと思って欲しい。リナシティ 1 階を図書スペースにして欲しい。 ● 農業人口が減少している。補助が必要。・小売店の廃業が増加している。 ● 指定難病があるうえ、通院の為の交通機関が不便です。 ● あまっている土地の有効利用、個人でもっている畑や山など手放したい人がかなりいると思います。 ● 空き店舗などの有効利用・ペットと住める貸家を増やして欲しい。 ● 鹿屋市の基盤となる農林水産、商工業でもっと満足度のある町づくりをしてほしいです。 ● いずれの仕事に関しても、素となる人材不足を感じます。農地は荒れ放題、担い手は高齢となっている。会社、組織にしても農地はせまいし、人材も少ないのでは。 ● 若い人の為に企業誘致 ● 企業誘致等あれば、働く場所が広がり活性化していくと思う。 ● 農業の高齢化で農地の後継者がいなく、担い手の育成が急務 ● 企業誘致をして地元若い働き手が戻ることで、活性化や人工増にもつながり、もっと楽しく世代間交流が図れると思います。 ● 畑かん事業が遅すぎた。専業農家が年を取った。 ● 農地の荒地が多い。 ● 農業支援策が少ない。